

干潟の鳥たち

■冬を過ごす鳥

水温が下がり干潟の多くの生物は冬越しの状態にある。鳥たちは群れを作り干潟で冬を越している。震災後最初の冬と比較すると見られる鳥の数は増えていると思われる（蒲生レポート第26号参照）。ユリカモメが摂餌する様子が見られ（Fig.1）、干潟内に鳥の餌となる生物が増えてきたのではないかと思われる。



Fig.1 餌をとるユリカモメ



Fig.2 河口のヒドリガモ



Fig.3 アオサギ



Fig.4 河口の混群